

幟町地区におけるコミュニティ再生に関する調査事業

(1) 調査報告書

1) 活動の背景

幟町、上幟町、鉄砲町、橋本町の4つの町からなる幟町地区は、JR広島駅と中心市街地八丁堀を結ぶ動線上に位置し東側に京橋川、中央に京橋通りが走る。地区内には広島県立美術館、世界平和記念聖堂(幟町教会)、エリザベト音大、広島女学院中・高校、国際トリニティカレッジ、国際医療福祉専門学校、広島国際大国際教育センターなどがあり、幼稚園から大学までそろった市内有数の文教環境を有している。

幟町地区の人口は、3,715人(2000年データ)。1995年から5年で10.5%ほど増加。同時期の広島市の人口増加率は1.6%に止まり、中区全体では逆に2.8%減少していることに比較してこの地区の伸び率が注目される。これは、都心部にありながら住宅地として再評価を受け、近年の都心回帰を反映している典型的な例と考えられる。

しかし地域コミュニティに関する課題としては、共同住宅(マンション)が90%以上に達し、一人世帯が65%を占め、単身赴任や若者が多く、昼間人口が少ないなどから、町内会による地域活動なども、当地区に旧来より居住している高齢者のみに担わされているのが現状であり、このままでは今後活動自体の維持も危ぶまれるなど、都会特有のコミュニティ形成の難しさが指摘される。

この課題を克服するためにも、限界の見える従来型の画一的な手法を見直し、行政と地元住民の間にNPOなどの中間領域組織が介入することにより、プラン段階から、特色のあるまちづくりを考えていくことにより、コミュニティ再生を目指していくことが要請されている。

2) 活動の経緯と目的

都市居住が進展している幟町地区において、地域住民とまちづくり活動を行う市民組織(NPO)とがパートナーシップを組み、地元住民参加のまちづくり学習会の開催、地域コミュニティの中心として機能する公園を活用し、緑化活動などの体験交流会や交流イベントを実施するとともに、居住の実態と住民の意識調査を行うことで、都市居住におけるコミュニティ再生施策の基礎資料とするとともに、これからの幟町地区におけるコミュニティ再生と新しいまちづくりを考える。

3) 活動内容

1 事業概要

事業タイトル：幟町地区におけるコミュニティ再生に関する調査事業

事業内容：

まちづくり実験プログラム～「おもしろ新発見！幟町」の実施(全6回シリーズ)

アンケート調査(居住の実態と住民意向調査及び地域との関わり方等)

2 まちづくり実験プログラム実績報告

[1]概要

タイトル：まちづくりチャレンジキャンペーン～「おもしろ発見！幟町」(全6回シリーズ)

内容：学集会(講座メニュー)、交流体験イベント(活動メニュー)など、住民参加まちづくりプログラム実施

*各プログラムの概要

日時	会場	テーマ・表題	内容
2月8日	RCC文化センター ホテルフレックス	まちづくりシンポ 第1段「集まれ幟町」 意見交換会	シンポジウム ・NBプロジェクトの発表 ・アンケート配布
2月22日	RCC文化センター 幟町界限	ぶらり幟町 (街歩きと講話)	勉強・交流会 ・講演と路上観察
3月1日	縮景園内 「明月亭」	幟町今昔物語 (縮景園探訪と講話)	勉強・交流会 ・お茶御点前
3月8日	国際教育センター	まちづくりシンポ 第2段 「どうなる@幟町」	意見プレゼン及びシンポ
3月16日	橋本町公園	「美的都会生活体験 会」	現地作業・講習会 ・クリーンアップ大作戦 ・花植え大作戦
3月22日	橋本町公園	「花咲く文化社交 会」	コミュニティイベント実 施 ・カフェ・音楽会など

[2]実施プログラム実績報告

<1>「おもしろ発見！幟町～その一の一」(講座メニュー)

<「集まれ幟町！」～まちづくりシンポ第1段・我が町、幟町を考えよう！>

日時：2月8日(土)15:00～17:00

場所：RCC文化センター 610号室

参加料：無料

内容：シンポジウム

・各活動グループのこれまでの活動事例報告など

・NBプロジェクトの発表

* アンケート配布

参加人数：12名(幟町地区：9名、その他の地区：3名)

ボランティアスタッフ：松岡友夫、宮本茂、福原美穂

NBプロジェクト（寺尾一朗、金森俊之、新見一郎）

運営スタッフ：若狭利康、石丸良道、岡本勝幸、手島絹江

スケジュール&役割分担：

時 間	内 容	担 当
14：00～14：45	会場・受付準備	若狭、石丸、岡本、松岡、宮本、福原、寺尾、金森、新見、手島
14：45～	受付	手島
15：00	挨拶	若狭
15：10～15：40	NBプロジェクトの発表	寺尾、金森、新見
15：40～15：50	休憩	
15：50～16：10	データ資料説明	宮本
16：10～16：30	質疑応答	若狭、石丸、橋本、松岡、寺尾、金森、新見
16：30～16：55	幟町の歴史について	佐々木卓也（参加者）
16：55～17：00	片付け	全員
15：00～16：55	議事録	石丸
15：00～16：55	運営補助	手島



テーマ：

今回の講座では、初回ということで主に「外部から見た幟町地区」をメインテーマとし、広島市役所職員らが研究したNBプロジェクトを発表した。

内 容：

広島市の職員より幟町の活性化についての研究発表があった。（NBプロジェクト）

・広島駅と中心市街地八丁堀を結ぶ動線上に位置する幟町地区のまちづくりは、これからの広島市の都心形成において、重要な影響を及ぼすであろう。

・そのために、新しいイメージとしてNB（New Brand）として立ち上げた。

・幟町地区には縮景園、美術館、音楽大学等、小学校、中学校があり、文化的なイメージがある。

・その一方で多くのマンション等、住居が多い。

・商店街やデパートで魅力的にするのではなく、住んでいる人のための魅力作り。

- ・将来的には他のエリアからも人が来る。
- ・「ゆとりと潤いの空間」をキーワードに
- ・歩いた感じは「休む場所が無い」「ゆっくり」歩けない「人が歩いていない」「夜が怖い」
- ・「都心居住」が進んでいるが、「つながり」のない暮らしからは「ゆとりと潤い」は生まれにくい。

以上のことより、次の提案があった。

通りの工夫

- ・100円パーキングの空き場所を休む場所（あづま屋、ベンチ）
- ・一方通行のボンエルフ（ジグザグの道）（車がゆっくり走る）人と車の共存
- ・入り口が目立つようなカフェテラスを作る
- ・人中心の通り
- ・歩きたくなる通り

公園

- ・都心だが環境に恵まれている
- ・水を通して「平和」を思う
- ・水を眺め、音を聞き、触れる 川岸に足を運んでもらう
- ・水と親しむ空間

水辺

- ・新たなランドマークとして歩行者専用の橋を作る
- ・歩きながら楽しめる橋
- ・夜はライトアップ

住まい

- ・都心居住の利便性、バリアフリー住宅、高齢者にやさしい街
- ・「快適」な生活には「住環境」の整備に加え「地域の支援」が必要

ひとのつながり

- ・ピースメッセージ「折り鶴が飛ぶ日」
- ・折り鶴の少女（佐々木禎子）の母校がある
- ・平和の意識が高い街
- ・世界各地から捧げられた千羽鶴を一定期間保管し、はがきとしてリサイクルし、捧げてくれた人へ郵送する。（ピースメッセージ）年間1,000万羽 重さ10トンが捧げられている
- ・平和イベント もてなしの心
- ・実行委員会の構成 市民・行政・会社
- ・街育ての概念 地域特性を活かしたイベント イベントのための学習会 「まちづくり」= 街を育てる

賑わいの広がりについて以下の提案があった。

ハードからの提言

- ・人中心の「通り」
- ・都心の安らぎ空間「公園」

- ・新たなランドマーク「歩行者橋」
ソフトからの提言
- ・「折り鶴が飛ぶ日」というイベント 街を育てる

社団法人中国地方総合研究センターのデータ分析により幟町地区についての報告があった。

- ・広島市中区全体が減少する中で、幟町地区は人口が急増している
 - ・居住者の年齢は、比較的若い
 - ・世帯数も増加中
 - ・住まいは、ほとんどが都市型住宅（マンションなど）
 - ・賃貸マンションなどには1～2人世帯が圧倒的に多い
 - ・分譲マンションも、積極的に供給している（中区の約1割）
 - ・幟町地区には、広島市、広島県を代表する資源が数多くある。また、幼稚園から大学までそろっており、市内でも有数の環境を誇る地区である。
- 今後、こうした資源を活かした魅力あるまちづくりが求められている。

「おもしろ発見！幟町～その一の二」

タイトル：交流懇親会

日 時：2月8日（土）17：30～19：30

場 所：ホテルフレックス

参加料：1000円

内 容：意見交換会

参加人数：12名（内、スタッフ：7名）

<2>「おもしろ発見！幟町～その二（講座メニュー）」

<「ぶらり幟町」～街道散歩・おもしろ再発見！>

日 時：2月22日（土）14：00～16：00

場 所：RCC文化センター 602号室 幟町界限

参加料：無料

内 容： 講話と路上観察

- ・ 講師：佐々木卓也による西国街道についての簡単な説明
- ・ 幟町界限の散策

参加人数：17名（幟町地区：17名）

講 師：佐々木卓也

ボランティアスタッフ：松岡友夫、福本みか

運営スタッフ：若狭利康、石丸良道、榊記彌栄、橋本真知子、手島絹江

スケジュール&役割分担：

時 間	内 容	担 当
13：30～13：45	会場・受付準備	若狭、石丸、松岡、榊、橋本、福本、手島

13:45~	受付	手島
14:00	挨拶	若狭
14:10~14:30	街歩き的心得についての講義	佐々木
14:30~14:40	休憩	
14:40~16:00	散策	宮本
16:00~17:00	意見交換	若狭、橋本、松岡
14:00~17:00	写真	石丸
14:00~17:00	運営補助	手島



テーマ：皆が住んでいる幟町を歴史面から再認識・再発見してもらおう。

内容：

講師の佐々木先生より、見学のポイントと街歩きの注意事項についての説明があった。

見学のポイント

- ・広島城下町は私達に何を語っていますか？
- ・広島中心部の文教地域の街づくりはどうですか？
- ・道路や街並みは観光に役立っていますか？
- ・ちょっと立ち寄ってみたい場所がありますか？

注意事項

- ・交通安全に気を配りましょう。
- ・市街地美化に協力しましょう。
- ・お互いに話し掛けあいましょう。
- ・用便、防寒、防水に気をつけて。
- ・皆の気持ちをNB構想へ！！

ルート（概要）：

・会場であるRCC文化センターから京橋川へ渡り、江戸時代に水路として使われていたという話を聞く。

- ・佐々木禎子の記念碑のある幟町小学校へ行く。
- ・世界平和記念聖堂にて話を聞き、地下聖堂へ案内される。

参加者の感想：

<幟町地区歴史についての再発見>

- ・以前大田川のことを調べていた時、近所に川または運河が多いことが判り、理由が判りま

せんでした。先生の「昔の人の利水の知恵」の訳を知り納得しました。

- ・ 裏木戸を始めて知りました。雁木だと思っていました。
- ・ NHKの壁が保存されていたことは今回始めて知りました。
- ・ エリザベトの鐘が4つあったことを始めて知った。
- ・ 生まれて60年近く住んでいながら、あまりに歴史を知らないのに驚きました。(実は歴史に詳しいと自負していました。)
- ・ これまで通っていた通り、平和記念聖堂又地下聖堂等全く始めて知るばかりです。佐々木禎子さんのモニュメント等目にしたのは初めてです。
- ・ 参勤交代の経路。大変関心があった。
- ・ 山代屋三絃店。こんな文化が残っていた。
- ・ 廣教寺。柳のいわれを聞いた。「広島は柳多き所かな」

< 幟町地区についての再認識 >

- ・ 幟町がますます好きになりました。味わい深い気持ちで町を歩くことが出来、もっと皆におしえてあげたい気持ちです。幟町で仕事をしているのですが、やっぱり移転をして遠くへは行かない方を決心しました。
- ・ 教会に久しぶりに入り地下まで。毎日歩く道にもいろんな事柄があり、時代の流れを感じました。
- ・ 「鐘の森」が響く街等、県内で殆どない特徴にあふれた地域だと再認識した。
- ・ 街を歩いてみて本当に文教の町並みだということを教えられました。子供の頃からよく遊んだことを思い出し、大変懐かしく思いました。

< 幟町地区の再構築について >

- ・ 地元学校の発表会が各店舗に美術館のパンフを置くなど他地域から来た人が「この街の人は面白そうなことをやっているな。」と思われる取組みから始めるのもいいかも
- ・ 「地域活性化について」前回の集まりの時、歩道橋や京橋通りの一方通行や歩道作りなどの計画が発表されましたが、実現は現在の状況では非常に難しいと思います。
- ・ 活動の輪が広がってきたときに「自分達ができること」と「行政と共に行えること」がどのようなものなのかの勉強もしたい。(cf. 街頭、歩道などを計画した時の行政補助がどれくらいのものかなど)
- ・ 最初に気になったのがRCC文化センターを出て道がかまぼこ状態でとても中央部が高く道の端を年輩者が歩くのは大変歩きにくいのではないかと感じた。
- ・ この地域でも不況の為に閉店の店舗が出始めている。2月末日製パン屋「ベティー」、1月には「和屋」etc.
- ・ 水辺を生かした散歩道が出来ると良いと思います。
- ・ 公園に潤いが無いですね。

< 3> 「おもしろ発見！幟町～その三」(講座メニュー)

< 「幟町今昔語り」～幟町に見るひろしまの歴史を知ろう！ >

日 時：3月1日(土) 14:00～16:00

場 所：縮景園

参加料：お茶・お菓子代500円

内 容：講話とお茶のお点前

参加人数：14名(幟町地区：5名 その他の地区：9名)

講 師：(財)上田和風堂(藤原事務局長、湯川事務局次長、中井師範 他3名)

ボランティアスタッフ：松岡友夫、福本みか

運営スタッフ：若狭利康、石丸良道、榊記彌栄、橋本真知子、手島絹江

スケジュール&役割分担：

時 間	内 容	担 当
12:30	集合、準備	上田和風堂、石丸、榊、橋本、福本、手島
13:45～	受付	松岡、若狭、手島
14:05	挨拶	橋本
14:10～14:40	講和・縮景園散策	湯川晶、橋本
14:50～15:30	「明月亭」にてお茶席お手前	(財)上田和風堂、榊
15:30～17:00	片付け	上田宗箇流の方々、橋本
14:00～17:00	写真、ビデオ	石丸、岡本
14:00～17:00	運営補助	橋本、手島

テーマ：幟町にある日本の文化にふれ、幟町地区がいかに文化的に誇れる街であるかということを知ってもらおう。



内容：

園内芝生広場にて(財)上田和風堂 湯川晶様による講和があった。

戦国時代にさかのぼり浅野藩の成り立ち、浅野藩と関連して上田宗箇茶道の成立、縮景園造園のいきさつなどについてプリント資料に沿って詳しく歴史経過の説明。

その後、園内を巡りながら、灯籠、石組み、池の造形意匠など、すべて戦国という時代背景の中、防御を担う役目を持って造園されると、解説を受ける。

特に池は、北側の京橋川に平行に細長く、水深も6尺以上と通常の池としては人の背たけ以上に深くし、池に見せかけた堀としているなど大変興味講和が続いた。

早春の雨音を障子の外に聞きつつ、上田宗箇の武家手前の特異性を聞きながら、ゆったりとお茶をいただく。お茶のお点前内容：盆手前 お薄 2服 主菓子 銘 蛤 室礼

所感：

縮景園の一番奥、京橋川を背に園内の景色を一望できる、明月亭での茶席であった。縮景園と一番由緒の深い(財)上田和風堂さまの席にての茶会を持って、大変有意義であった。この日は早春の雨で、残念ながら参加者が少なかったが、出席者は趣のあるひと時を持つことができた。

浅野藩の武家屋敷、縮景園と、掘り起こせば尽きることのない深い歴史を抱えているこの幟町は、次世代街づくりアイデアの発信地として、大変特異な地区であることを今回再認識した。また、都心の一等地のこのような静寂で自然あふれる一角は、住民の癒しと憩いの場としてもまた、地域環境の形成にも大変重要であって、今後もよりいっそう大切に管理保存をしていくべきであろうと強く感じた。

折りあるごと地元の皆様も一般市民また、特に若い方もぜひ地元縮景園での茶道文化と造園意匠を気軽に体験し日本文化の理解の一助とし、そこからまた新たな文化の発見と創造を期待したい。(セトラひろしま 理事 橋本真知子)

<4>「おもしろ発見！幟町～その四」(講座メニュー)

<「どうなる@幟町」～まちづくりシンポ第2段！幟町の未来を語ろう！>

日 時：3月8日(土) 15:00～17:15

場 所：国際教育センター4F 400号室

参加料：無料

内 容：企画プレゼン及びシンポ

- ・公園整備や地域の環境づくり企画の提案
- ・イベントの提案等
- ・パネラー：環境づくり、イベントづくりなどの提言者

参加人数：16名(幟町地区：11名 その他の地区：5名)

講 師：なし

ボランティアスタッフ：松岡友夫、金森俊之

運営スタッフ：若狭利康、石丸良道、岡本勝幸、橋本真知子、手島絹江

スケジュール&役割分担：

時 間	内 容	担 当
14:00～14:45	集合、準備	若狭、松岡、石丸、岡本、手島
14:45～15:00	受付	石丸、手島
15:08～15:11	挨拶	若狭
15:11～15:17	過去の講座についての報告	若狭、石丸
14:17～15:23	アンケートについてのコメント	中田
15:23～15:50	NBプロジェクトの発表	金森
15:50～16:03	質疑応答	
16:03～16:23	16日、22日のお知らせ	石丸、橋本
16:23～16:30	休憩	

16：30～17：15	意見交換	
17：15～17：45	片付け	
15：00～17：15	ビデオ	岡本
15：00～17：15	運営補助	石丸
15：00～17：15	議事録	手島

テーマ：講座メニュー最終の締めくくりとし、住民の方々に改めて感じたことや考えたこと、想いなどを発言してもらおう。

参加者の意見

< 幟町地区をハード面から変える >

- ・ 歩くのに歩道が必要。電動車椅子は道路を走ってしまう。
- ・ 最近では渋滞が多い。そごうの駐車場までが込む。
- ・ 京橋道路は真中が高く両端が低い。歩いているとがに股になる。道路の整備をして欲しい。
- ・ 散歩する道が少ない。暗い。座るところが無い。

< 幟町地区をソフト面から変える >

- ・ 今では中学校、高校時代に悪い道へ進む子供達が多い。昔のように怒る近所のおじちゃん、おばちゃんが必要である。ハートの部分を昔に戻ったらどうか？
- ・ 幟町は商店街が無い(一つあるがイメージが低い)。例えばNBエリアというイメージ作りが必要だと思う。

< 幟町地区を住民間の交流面から変える >

- ・ エリアとしては新しい住民が多いので、イベントや勉強会でいっしょに活動したい。
- ・ マンションでは住民のアンケートの回収が早かった。潜在的に何かきっかけがあればみんな参加するのでは？
- ・ 幟町は良い街。マンションに住んでいる人と交流したい。
- ・ 東では地元の人たち主催のお祭りにマンションの人がお客という形で交流している。亥の子で交流している地域もある。西は無い。
- ・ 幟町公園の掃除にはマンションの人も来る。小さなイベントに来る人もいるだろう。皆さんで小さなイベントを考えよう。

< その他 >

- ・ 幟町の良いところは悪いことが起きない地域。暴走族が通らない。公安がしっかりしている。住んでいる人々が礼儀作法を守っている。

< 5 > 「おもしろ発見！幟町～その壱」(活動メニュー)

< 「美的都会生活体験会」心もバリアフリー！ >

日 時：3月15日(日) 9：00～14：00

場 所：広島市中区 橋本町公園

内 容：16日の下準備のためのユングによる土の掘りかえし作業



日 時：3月16日(日) 10:00～18:00

場 所：広島市中区 橋本町公園

参加料：無料

内 容：体験交流会(クリーンアップ大作戦、花植え大作戦、カフェ、音楽ステージ他)

参加人数：55名(幟町地区：35名 スタッフ：20名)

講 師：花企画、104企画

ボランティアスタッフ：松岡友夫

運営スタッフ：石丸良道、岡本勝幸、尾崎頼寿、榊記彌栄、手島絹江

スケジュール&役割分担：

時 間	内 容	担 当
9:00～10:00	集合、スタッフミーティング	花企画、104企画、松岡、石丸
10:00～14:00	作業	花企画、104企画、松岡、石丸
11:00～15:00	お花見準備	尾崎、榊、手島
15:00～18:00	お花見	石丸、岡本、尾崎、榊、手島
18:00～19:30	片付け	石丸、岡本、尾崎、榊、手島
15:00～17:15	ビデオ	岡本
15:00～17:15	運営補助	石丸、手島

テーマ：身体を使って実際に行動を始めてみる。



幟町パース



<5> 「おもしろ発見！幟町～その弐」(活動メニュー)

< 「花咲く文化社交会」 >

(*注記：支援事業対象期間外活動、ただしこの活動に係る準備活動は支援事業対象に含まれる。)

日 時：3月22日(土) 11:00～16:00

場 所：広島市中区 橋本町公園

参加料：無料

概 要：飲食屋台、カフェ、ステージ展開、音楽ワークショップ、ハンギングバスケットワークショップ、他

参加人数：37名(幟町地区：14名 その他：3名 スタッフ：20名)

来場者：のべ200名程度



3 アンケート調査報告

～住みよい「幟町地区」にするためのアンケート調査～

幟町地区の居住の実態と住民意向調査及び地域との関わり方など、アンケート調査を実施した。

[1] 調査の概要

<1> 調査の目的

広島市中区幟町地区（幟町、橋本町、上幟町、鉄砲町）における都心居住や地域活性化方策の検討を行うための基礎資料とする。

<2> 調査対象

広島市中区幟町地区（幟町、橋本町、上幟町、鉄砲町）内に居住する世帯

<3> アンケート実施期間

平成 15 年 2 月 8 日（土）～2 月 28 日（金）

<4> 実施方法

まちづくりイベント「まちづくりチャレンジ・キャンペーン/おもしろ発見！幟町」参加者への直接配布、郵送回収、又は、町内会組織を通じた直接配布、郵送回収

（別紙：アンケート調査票参照）

<5> 回収数：192 票

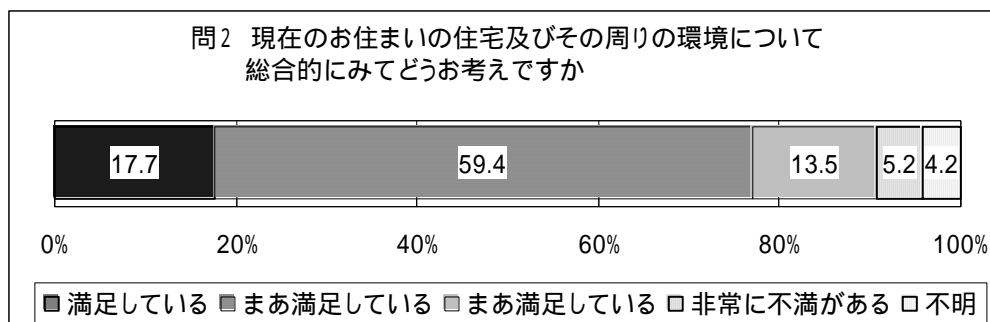
[2] 調査結果

（別紙：アンケート調査結果報告書参照）

幟町地区の住宅、住環境の総合評価

全体では、「まあ満足」が 59.4%と最も多くなっている。次いで「満足」が 17.7%と続いており、合わせて 77.1%が満足している。一方、「多少不満」、「非常に不満」は合わせて 18.7%であり、少なくなっている。

満足度が特に高くなっており、各環境評価から考え、住宅よりもその周りの環境への評価がより高く、利便性を含めた周りの環境への満足度が都心の満足度につながっているといえる。

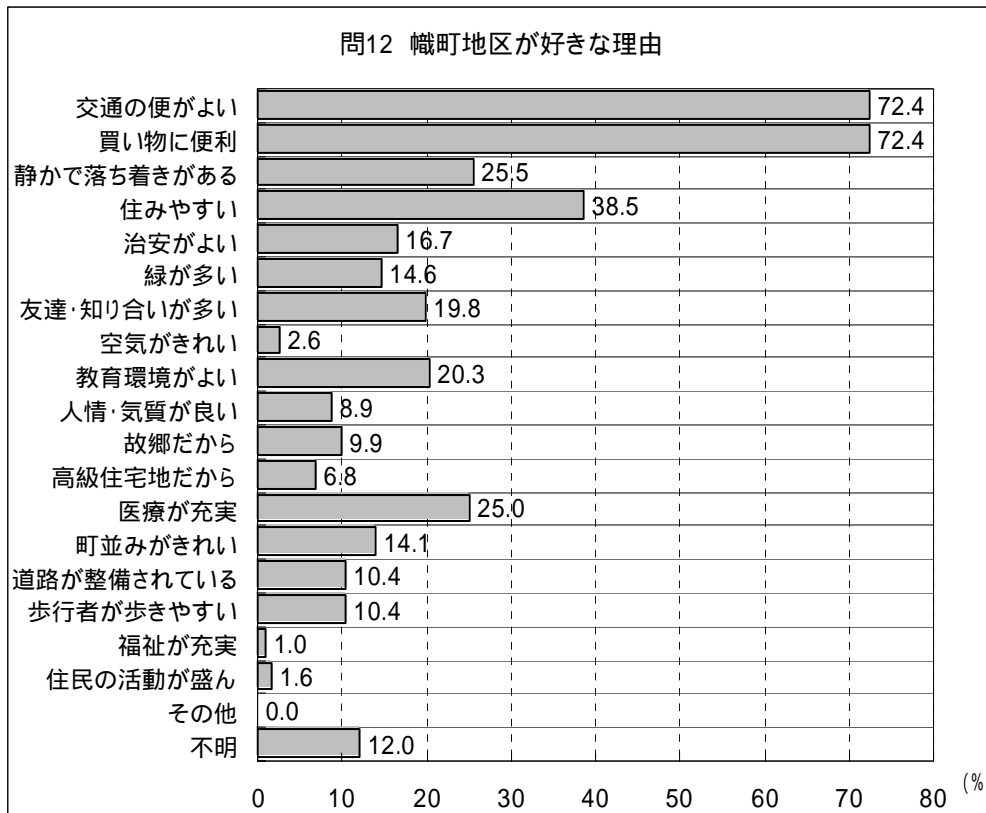


幟町地区が好きな理由

全体では、「交通の便がよい」、「買い物に便利」が 72.4%と最も多く、次いで「住みやすい」が 38.5%、「静かで落ち着きがある」が 25.5%、「医療が充実」が 25.0%、「教育環境がよい」が 20.3%などとなっている。

利便性へ特に高い評価が下されているが、「住みやすい」、「静かで落ち着きがある」

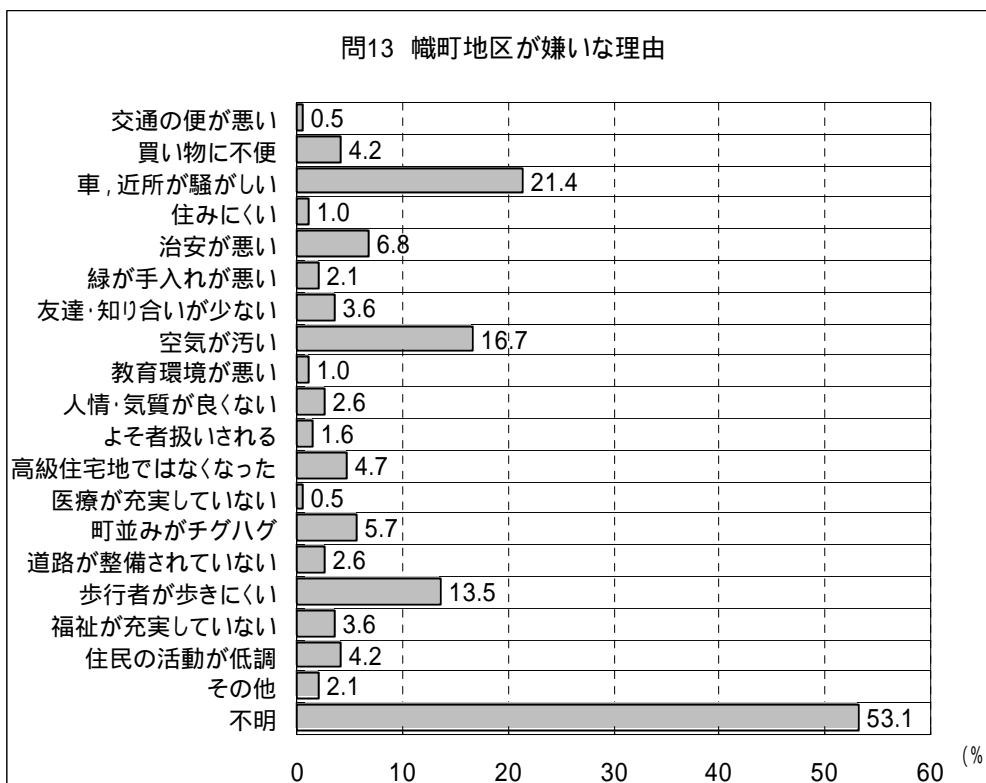
など定住環境が評価されているのは特徴的である。こうした利便性と居住環境が並立するのが幟町の特徴であると考えられる。



幟町地区が嫌いな理由

全体では、「不明」が 53.1%と最も多く、次いで「車、近所が騒がしい」が 21.4%、「空気が汚い」が 16.7%、「歩行者が歩きにくい」が 13.5%、「治安が悪い」が 6.8%などとなっている。

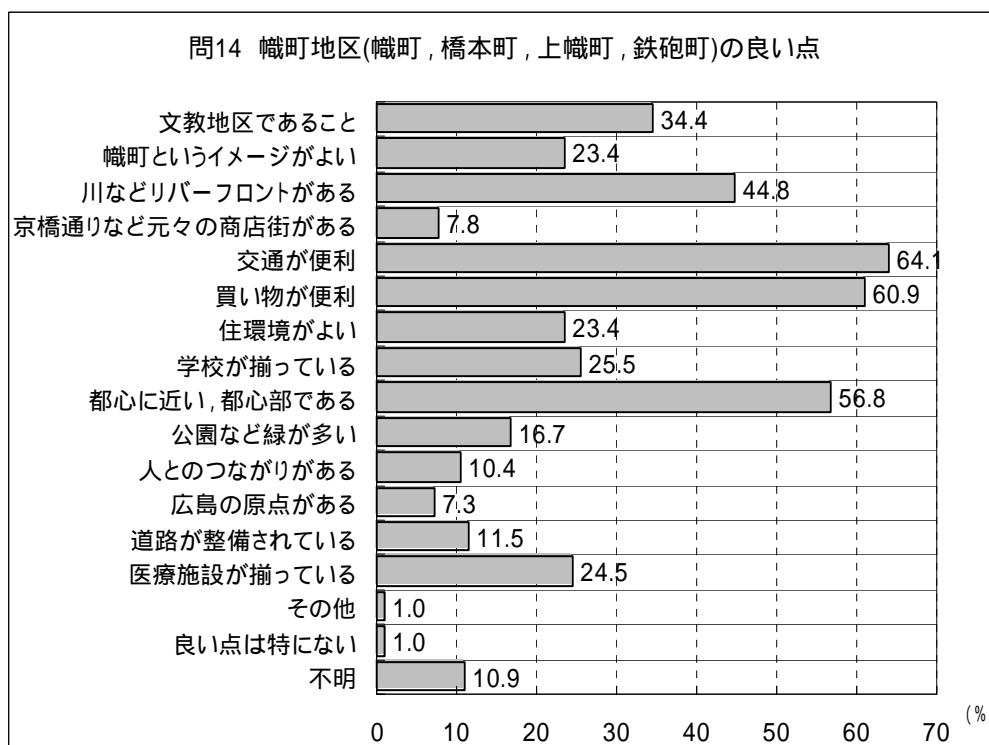
不明、即ち「嫌いな理由がない」といった住民が多く、嫌いな理由はあまりない傾向がある。一方、嫌いな理由としては、騒々しさや空気などがあげられている。



幟町地区が良い点

全体では、「交通が便利」が64.1%と最も多く、次いで「買い物が便利」が60.9%、「都心に近い、都心部である」が56.8%、「川などリバーフロントがある」が44.8%、「文教地区であること」が34.4%などとなっている。

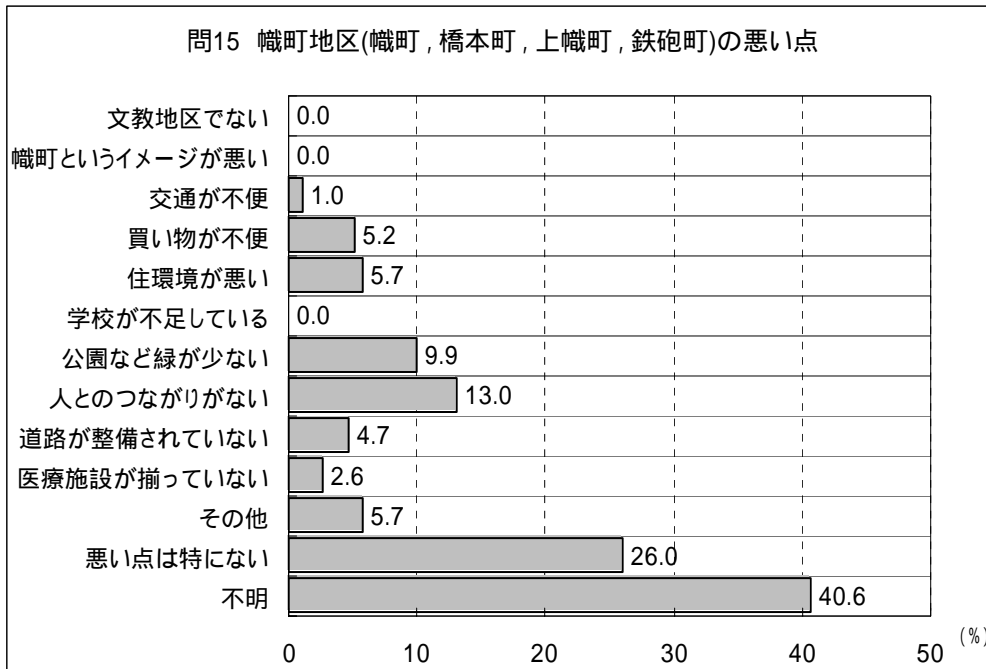
立地に関する評価が高くなるものの、リバーフロントなどの環境、文教地区、学校などの地域の集積資源が高く評価されており、幟町地区の特徴である。



幟町地区の悪い点

全体では、「不明」が40.6%と最も多く、次いで「悪い点は特にない」が26.0%、「人とのつながりがない」が13.0%、「公園など緑が少ない」が9.9%、「住環境が悪い」が5.7%などとなっている。

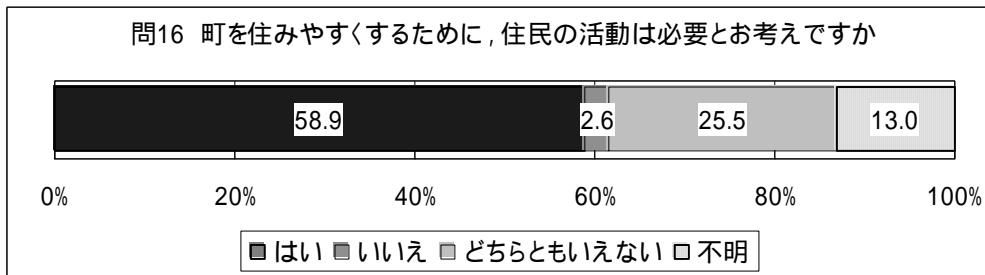
不明を含め、「悪い点は特にない」が多くなっており、マイナス評価は少ない傾向となっている。



幟町地区での住民活動の必要性

全体では、「はい」が 58.9%と最も多くなっている。次いで「どちらともいえない」が 25.5%となっている。

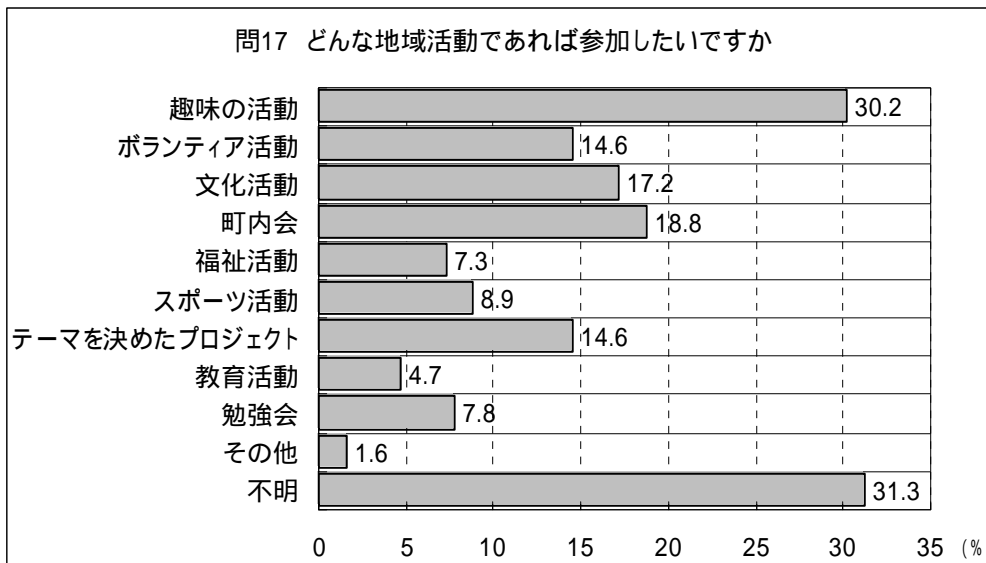
多様な住民から構成されている地域であり、活動の必要性を認める住民が圧倒的に多くなっている。



参加してみたい地域活動の内容

全体では、「不明」が 31.3%と最も多く、次いで「趣味の活動」が 30.2%、「町内会」が 18.8%、「文化活動」が 17.2%、「ボランティア活動」「テーマを決めたプロジェクト」が 14.6%などとなっている。

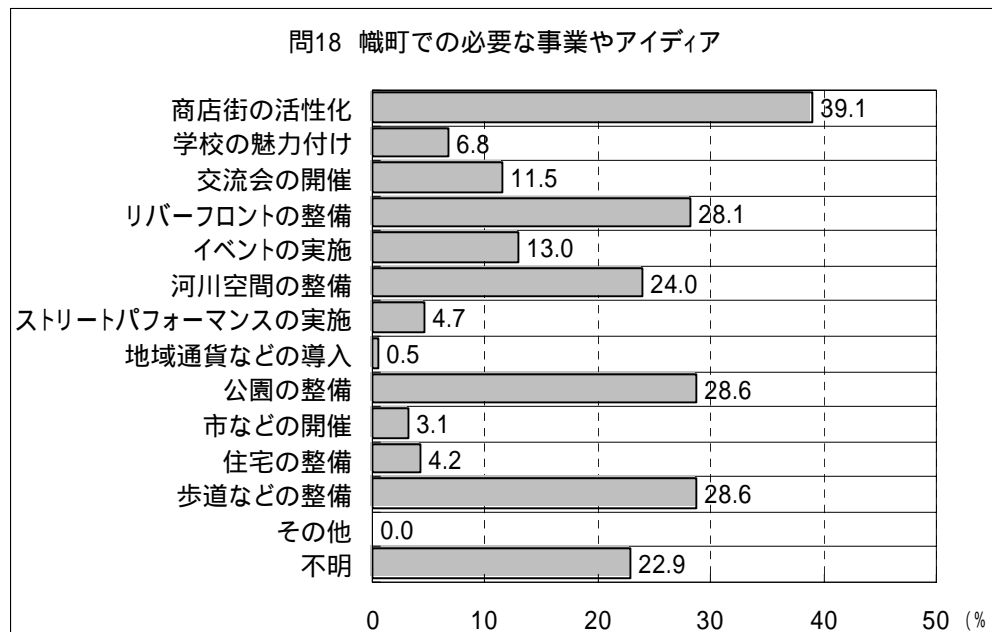
不明が多いことからみて、総論としての必要性を認めつつ、参加意識は必ずしも強くない。その中で、趣味の活動など比較的手軽に参加できる活動へのニーズが高くなっている。



幟町地区活性化のアイディア

全体では、「商店街の活性化」が 39.1%と最も多く、次いで「公園の整備」、「歩道などの整備」が 28.6%、「リバーフロントの整備」が 28.1%、「河川空間の整備」が 24.0%、「不明」が 22.9%などとなっている。

リバーフロント、商店街など地域の特徴を伸ばしていく取組が多くあげられているのが特徴である。



まとめと考察

今回のアンケート回収結果は、属性として高齢者が多いなど、多少の偏りあるものと考えられる。

都心部の住まいや生活環境評価は、特に高いものがあり、特に利便性は圧倒的に評価されて

いる。また、住宅よりも都心部としての生活環境を評価する傾向が強い。一方、環境上の一部の問題も指摘されているものの少ない。

こうした傾向は、高齢者も同様であると考えられ、住宅地としての都心部の可能性が予感させるものである。特に、子育て前か子育て後の世代に受け入れられる可能性が高い。

一方で、回答結果からは、子育て世代が少なく、課題を抱えているとみられる。

都心部に対し、仕事上・商売上で転入し、その後、実際に居住することで都心部の利便性などを発見し、評価が高まるといった状況がみられる。仮に転居するとしても周辺部に転居したい住民が多いことから考え、都心部居住が評価されている。

幟町のブランドイメージもかなり高い評価が下されており、これは京橋川、縮景園、大学・高校等の資源が貢献している。

コミュニティは希薄化しており、地域活動の必要性を認めつつも、実際の活動参加は難しいとみられる。

コミュニティの活性化のため、商店街の活性化などがあげられ、地元商店街の活性化が大きく取り上げられていることは注目に値する。

4) 活動の成果

<本事業の活動の評価及び成果>

町内会などの従来型の地縁組織ではなく、NPOのような中間領域組織が、外部からの視点によって、まちづくりに関与し、具体的な活動を試みたことは、住民に改めて「わが町～幟町地区」について考え、意識啓蒙の一つの契機であった。町内会どうし、住民どうしがやっと手を繋ぎ始めた。これによりマンション住民との新しい対話が芽生えるであろう。新しいまちづくりへのスタート！

具体的な成果

- ・地域公園活用についてのノウハウの学習及び蓄積
(住民参加によるガーデニングで公園がよみがえった。公園を活用した新しい形のコミュニティイベント実施の可能性が見えた。)
- ・町内会を超えた個人有志によるコミュニケーションの促進及び「まちづくりネットワーク」形成の萌芽

新しいまちづくりへの具体的な成果事例

- ・橋本町公園における清掃や・花・緑を維持管理するグループが活動開始した。
(地元橋本町・町内会・老人会・女性会のメンバーが中心)



橋本町公園施工前



橋本町公園施工後

5) 今後の展開

<活動の課題>

マンション住民との協働の困難性

今回の事業により、都会特有のコミュニティ形成の難しさが改めて実証されたように思える。「古い住民間はその町内会という繋がりがあるが、新しい住民（マンション住民）は町内会に入らず、地元との付き合いを遮断している」と一般的にはそれが常識のように思われている腑がある。しかし実際は、いつ出て行くか分からない単身者を除き、幟町地区に永住しようと思っている家族は町内会という核に入ることを躊躇しているのかもしれない。一部の住民はこの事業は町内会の行事だから参加してはいけないと思っていたそうである。

町内会などによる従来型地域活動の限界を踏まえた、新しい「まちづくり」の担い手づくり。

地域住民への広報伝達手段の欠如

- ・町内会ごとに回覧版など伝達方法がまちまちで統一がとれていない。
- ・町内会へ属していない住民、特にマンション住民には、伝達手段が皆無だった。

地区内住民に対する情報伝達方法の確立（統一化、システム化）

幟町エリアのコミュニティー作りの問題

幟町地区には数多くの町内会がある。江戸時代には武家屋敷や商人、職人、遊郭までがあり、住民の生活圏が多様で複雑であった。そのせいか、現在でも他の町内会との交流は希薄であるようだ。そんな中、「おしゃれな文化居住」というイメージでマンションが次々と立ち並び、広島市中区の人口が減っているにも関わらず、幟町地区のみ増え続けている。しかし新しい住民達は町内会にも入らない、街が何をしようと全く興味がないという人々が多い。一方で古い住民達は「幟町を活性化しなくては！」という意識を持ちながらもいつのまにか昔から続いている「文化の街」という意識を薄れさせていると同時に「昔のコミュニティーのあり方」も忘れ、日々なんとなく過ごしている。住民達は心の中では「何かしたい。」と思いながらも団結力に欠け、「こうして欲しい。ああして欲しい。」などの要望を広島市やNPOセトラひろしまに訴えていただけだった。しかし、今回のこのプロジェクトでいろいろな町内会の人々が顔を合わせ、のんびりと昔話に花を咲かせ、幟町地区の文化を感じ、橋本町公園で花を植えるなどの共同作

業を行った。いつのまにかテーブルと椅子、飲み物と食べ物を置いておくだけで「幟町地区をいっしょに良くしよう！」ということについて自ら語り始めた。ようやく自分達の街は自分達で考え、動かなければという意識が生まれたようだ。

<総括>

～地縁から志縁・好縁による「まちづくり」の可能性を求めて！～

新しい「つながり」(コミュニティ)を求め、幟町地区らしい特色のあるまちづくりを行うためには、住民は、行政機関にたよることなく先ず自立し、自らが動くことである。住民・生活者、個人一人ひとりが、自らの生活感や関心にもとづいた、身近なテーマから活動を始め、マンション住民などの参加を募り仲間を増やしていく。さらに、NPO団体など外部団体と連携ネットワークを結び、それによる効果を有効に活かしていくならば、まちづくりも現状の限界を超えたものになるだろう。

こうして様々なテーマによる活動とそれによる人の「つながり」(コミュニティ)が核となり、またそれらが有機的に結び付いて幟町地区全体に広がるならば、この地区は、広島駅と広島市中心市街地といった商業地域の間を結び、潤いや魅力ある21世紀型都心居住空間の形成とともに、この地区の財産である歴史・文化資源を有効に活かした、広島市民が誇れる観光エリアとして発展していくであろう。

<今後の活動予定>

橋本町公園における清掃や・花・緑の維持管理をテーマにグループが活動開始したが、NPOセトラひろしまも要請があれば支援サポートしていく予定である。

6) 活動のポイント

・活動の人材

NPOセトラひろしま・グリーンプロジェクトチーム

NPOセトラひろしま・オープンカフェチーム

アルバイト(アンケート配布、運営スタッフ、花植えスタッフ、美術スタッフ)

広島市職員有志

アンケート分析チーム(NPOセトラひろしま会員)

地元参加者

・活動のための資金調達

総事業費 3,003,678 円

業務委託費	3,000,000 円	財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団
事業費	3,678 円	NPOセトラひろしま
合計	3,003,678 円	

・活動のネットワーク・支援

- ・ NPO法人コーチズ (NPOセトラひろしま・グリーンプロジェクトと連携活動を行っている。)
- ・ NBプロジェクト (広島市職員による、当地区に関する任意の研究チーム)
- ・ 佐々木卓也 (「西国街道散会」会長 「ぶらり幟町」: 講師)
- ・ 財団法人上田和風堂 (藤原事務局長、湯川事務局次長、中井師範他 3 名「幟町今昔語り」)
- ・ 寺内大輔 (「美的都会生活体験会」「花咲く文化社交会講師」)
- ・ エリザベト音大学生有志
- ・ 地元橋本町町内会有志 (「花植え大作戦」参加、交流イベント・飲食ブース「橋本屋」出店など)